

2023

5.17 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_MAKK4NmpSny12v57r8VfbA

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

総合知とデザイン

—未来を妄想し、勝手に表現する

司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)



尾方 義人 教授

芸術工学研究院 未来共生デザイン部門

1966 年丙午で神戸市生まれました。九州芸術工科大学を卒業して、3000 人ぐらいの会社のデザイン部で務めたあと、従業員 5 人のデザイン事務所で働きました。その後大阪大学で学位をとった後、九州大学芸術工学部に着任しました。

現在は実務で実践してきた工業デザイン・情報デザイン・空間デザインでの方法を利用し、芸術工学部の未来構想デザインコースで、デザインの方法論・デザインの思考法を使って未来社会をどう作っていくのかを教育しています。また社会包摂デザインイニシアティブというところで、ジェンダーや障害から多様性を考えていく仕事をしています。

さらに 大学本部 伊都の組織では未来社会デザイン統括本部とデータ駆動イノベーション推進本部やネガティブ・エミッション・テクノロジー研究センターに所属しています。これまでのデザインの方法論を使いながら、新しい未来社会を様々な部局と連携してすすめています。

技術と未来社会がどうなっていくのか、どうあるべきかやどうするべきかではなく、まずは表現してみました。それにより、様々な対話や気づきや可能性を見つけました。技術の答えでも、成果物のデザインでもありません。楽しい未来を考えるためのデザインからの投げかけです。こういった方法が未来構想デザインとなっていきます。

ダイレクト・エア・キャプチャー技術が工業化され、社会に浸透していくとどうなるか。あるいは社会と技術の関係を考えるにはどうすればいいかを、表現します。

プロダクトを勝手にスタイリングしました。内部がどのように成るかも想定しながら、勝手にデザインしました。ビジネスモデルも考えて、ホールディングスカンパニーも勝手に作り、様々な関連会社も勝手に作りました。どうしてそのようなことが必要なのかデザイン表現の立場から説明します。